

令和6年8月20日(火)

「国際金融暗号学会 2025」 沖縄（宮古島）に開催決定！ 官民一体となり誘致に成功！

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎、以下 OCVB）が沖縄県と共に誘致していた「国際金融暗号学会（International Conference on Financial Cryptography and Data Security2025 (FC25)）」が沖縄（宮古島）に開催決定しました。

OCVB は日本政府観光局（以下 JNTO）から情報を得て、開催まで準備期間の少ない本件の調整役として、主催者からの要望や大幅な状況変更等に柔軟に対応しつつ、県内最終候補地となった宮古島の視察を支援しました。主催者の運営委員会にて、カリブやアジアの他の競合地と最後まで厳しく吟味された結果、宮古島視察を行った委員2名からの熱意ある提案により、宮古島開催が決定しました。

本件は経産省及び観光庁から日本開催への期待が大きく寄せられ、JNTO からは海外側の主催者とのコミュニケーションや沖縄視察への協力を得たほか、会場となるシギラセブンマイルズリゾートの全面的な協力も大きく影響し、「チーム・ジャパン」としての熱意と努力が実り、誘致活動に成功しました。

宮古島では会議やレセプションのほか、島内観光を楽しむエクスカーション等も予定されており、経済波及効果はもちろん、島嶼地域での国際会議開催事例としてのノウハウ構築や、国際的に注目される研究発表の舞台となることでの知名度向上にも期待がかかります。

【宮古島選定の主な要因】

- アジアからのアクセス（アジアからの参加者増を期待）
- カリブ海をはじめ世界のビーチリゾートで毎年開催されてきた本件の開催にふさわしい質の高いビーチリゾート
- 安全性

【会議概要】

- ・ 催事名称：Financial Cryptography 2025
- ・ 主催団体：International Financial Cryptography Association
- ・ 開催期間：2025年4月14日～18日
- ・ 会場：ホテル シギラミラージュ（宮古島）
- ・ 会議ウェブサイト：<https://fc25.ifca.ai/>
- ・ 参加予定人数：150名（海外から100名、県外から50名）

※参加者の主な居住地は欧米。今回はアジアからの参加増も期待されている。

・内容：国際的な暗号学の会議で、金融システムをはじめとした各種社会システムのセキュリティを議論する。暗号通貨に関しては世界最高峰の研究討議の場となる。

・過去における沖縄開催実績：2013年に沖縄本島にて開催（会場：万国津梁館）

➤ キーパーソン：

FC25 共同実行委員長

① 佐古 和恵 氏／早稲田大学 基幹理工学部 情報理工学科 教授（在日本）

② Rafael Hirschfeld 氏／Unipay／IFCA Director（在オランダ）

【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー
海外・MICE 事業部 MICE 推進課

担当：上地、比嘉 茜

TEL:098-859-6130 FAX : 098-859-6222

Mail:mice@ocvb.or.jp